

平成26年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立子育てふれあい広場	所管課	子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人子育て支援センターたんぽぽ	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成30年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制(利用料金及び指定管理料)
導入年月日	平成18年9月1日	指定回数	3回
施設設置目的	子育てふれあい広場は、乳幼児を子育て中の家庭に交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報の提供、助言及び乳幼児の一時預かりの実施など、子育て家庭に対する総合的な支援を行うことにより、地域における子育て支援基盤を形成し、誰もが安心して子育てができるまちの実現をめざし設置。		
施設概要	【開設】平成18年9月1日 【敷地面積・延床面積】295.88㎡ 【施設内容】一時預かり室80.97㎡、つどいの広場107.71㎡、事務室17.35㎡、幼児用便所18.24㎡、調理室4.38㎡、授乳室5.26㎡、休憩・更衣室10.75㎡、前室51.22㎡		
管理運営の基本方針	①子育てふれあい広場の設置目的に照らし適切な管理運営を行う。②公の施設であることを念頭において、公平な運営に努める。③利用者の意見を反映する。④個人情報保護を徹底する。⑤苦情解決体制をとり、サービス向上に努める。⑥効率的な管理運営に努める。⑦管理責任者及び火元責任者を配置する。⑧従事者の研修を行い資質向上に努める。⑨健康診断を行い、健康管理に努める。⑩安全管理に配慮し火災、損傷を防止し財産の保全を図るとともに利用者及び業務従事者の安全確保に努める。⑪衛生管理に配慮し、快適な状態の保持に努める。⑫火災、事故等の緊急事態に備え防災計画を定め、避難、救出等の訓練を定期的実施する。		
指定管理者の主な業務	①子育てふれあい広場の維持管理。②子育て家庭に対する交流の場(つどいの広場)の提供及び相談業務。(各種行事の企画実施。子育てに関する講習会の開催。子育てグループの育成等。)③乳幼児の一時預かり業務。④子育て支援ネットワークの構築。		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果(5以外)/3:目標値に達している場合/2:目標値をやや下回る場合/目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合)	
	4

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	つどいの広場	26,000 人	28,416 人	105.7%	109.3%	
乳幼児の一時保育	1,000 人	1,429 人	119.2%	142.9%		
子育て相談	200 件	283 件	139.4%	141.5%		
(特記事項) 集いの広場、一時保育の利用者が昨年度実績から見てもかなり増加しており、子育て相談件数も増加傾向にある。障がい児の一時預かりや、障がいを伴う子育て相談等も増えている。						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場の維持管理に関すること 子育て家庭に対する交流の場の提供に関すること 子育てに関する情報の提供に関すること 子育てに関する相談業務に関すること 子育て及び子育て支援に関する講習の実施に関すること 子育て家庭の支援に関する関係機関との連携に関すること 乳幼児の一時預かりに関すること 	未実施事項はない。			
自主事業	子育て講座(「初めての夏の過ごし方」「口から考える子育て」「小児救急」「絵本とよみきかせ」) あかちゃん体操、親子リズム、わらべうたあそび、よみきかせ、父母のヨガ、タングラム、人形劇、父親支援教室、35歳以上で初ママ交流会 ガチャガチャバンド演奏会(母親グループの支援) 父親支援講座から生まれた市内父親グループの活動(コネク父ちゃんの活動)支援。					
サービス向上の取組	取組みを市報やホームページに掲載している。パンフレットも作成し、啓発している。 「つどいの広場」は来所簿記入。催事等は、通信や市報などでお知らせし、基本的に予約制としている。 苦情受付係(施設長)が対応し、苦情受付簿を作成している。危機管理マニュアルを設置している。”					

5

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 行事ごとにアンケートを実施。年1回全体アンケート実施。調査項目は、利用回数、利用内容、よかったこと、不便を感じたこと他	4
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】行事ごと随時と年1回の全体アンケート 【調査方法】利用者に配布、回収 【調査項目】接客態度、施設管理、申込受付方法等	
	(3) 調査、会議等の結果 【接客態度】良好 100% 悪い % 【施設管理】良好 100% 悪い % 【受付方法】良好 100% 悪い %	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・施設がきれいである。 ・手作りおもちゃがいい。 ・職員がやさしい ・これからも講座を開いてほしい。	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 【広場】授乳室がもっとあったらいい。 ヨガが時々でも完全保育があるといい。 【一時預かり】当日の申し込みでも受けてほしい。 《対応措置》上記の内容に対しては対応できていない。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成26年度)				市の収支				評価				
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算(前年度)						
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額					
収入	利用料金	1,985,000	利用料金	2,958,800	歳入	施設使用料		施設使用料		4			
	指定管理料	25,500,000	指定管理料	25,500,000		行政財産使用料		行政財産使用料					
	自主事業※		自主事業※			国庫支出金	4,852,000	国庫支出金					
	その他収入	40,000	その他収入	1,070		県支出金	4,852,000	県支出金	6,760,000				
						その他		その他					
	計	27,525,000	計	28,459,870		計	9,704,000	計	6,760,000				
	支出	人件費	23,907,000	人件費		24,309,641	歳出	修繕料			修繕料		4
		設備管理費	1,201,000	設備管理費		1,152,609		保険料			保険料		
備品購入費		0	備品購入費		指定管理料	25,500,000		指定管理料	25,500,000				
修繕費		50,000	修繕費	96,120	業務委託料			業務委託料					
光熱水費		700,000	光熱水費	838,382	土地・建物賃借料			土地・建物賃借料					
事業費		325,000	事業費	286,978	その他			その他					
事務経費		170,000	事務経費	294,530									
本社経費			本社経費										
その他		1,172,000	その他	1,481,610	計	25,500,000		計	25,500,000				
計		27,525,000	計	28,459,870									
損益	0		0	差引	△ 15,796,000		△ 18,740,000						
※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること	自主 収入		収入										
	自主 支出		支出										
	自主 自主事業損益	0	自主事業損益	0									
人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								85.4%					
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由													

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	3
	配置実績	職員7人、パート3人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	3
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		適	3
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか		適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		適	3
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		適	3
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
父親支援事業支援グループの育成	父親支援講座参加者から自主的、主体的な会「コネクトウチャン」が発足され、主催事業を開催された。今後は、ふれあい広場としてどう支援していくかが課題となっている。子育て支援グループの育成と活動支援をふれあい広場の事業活動の一つとしてどう位置付けていくかが課題。	4
音楽グループの育成	広場の事業から親子の音楽グループ「ガチャガチャバンド」を立ち上げたが、自立した子育て支援グループとして活動していけるように育成を図る方向で持続している。	
子育て支援グループの育成	ママ友グループの育成を図る。「35歳以上初めてのママの集い」から何組か「ママ友」のグループ活動が生まれている。	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	指定管理者の健全性	4	A		
	施設の有効活用	5			
	利用者評価	4			
	事業収支	4			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
	施設の設置目的の達成	4			
	評価理由	<p>相対的に、基本協定書の取り決め及び仕様書の内容に則り、管理運営を実施している。コスト削減に対しても積極的に取り組んでおり、利用制限をせざるを得ないほどの人気の施設となっている。定期的に(2ヶ月に1回)子育て支援拠点連絡会議に出席しており、市との連携も図られている。また、利用者からの評判を見ても、事業運営について概ね好評であることが伺え、今後、ますますのサービス向上に期待するものである。</p>			
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項		
	特になし。	特になし。	一時預り保育が急増しており、非常勤職員を増員する必要があるため、1時間あたりの利用料金変更の要望書が年度末に提出されているため、今後、協議の上、見直す必要がある。		

【指定管理者自己評価】

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

計画は前年度実績を参考に、利用者の要望を取り入れ、力を入れたい事業にてこ入れする形で年度計画を立てているが、利用する父母との連携した事業計画が具体化されているせいか、実績は計画を少し上回っている。

② 業務の効率化に対する取組

職員の質が高く、同じメンバーがいくつもの事業を担当でき、事業の効率を上げている。

③ その他

(2) 管理業務実施上の課題

① 職員は長期にわたり職業として子育て支援業務に携わっています。勤続年数毎に給与を上げたいのですが給与上昇が反映できるように指定管理料を考えていただけると嬉しいです。

② 一時保育室が一か所でお昼寝などの分けなどが出来なくて、困っています。職員の狭いロッカー室で抱っこして寝かせている状態です。

③ 利用者から授乳室が足りないという要望が出されています。

(3) 次年度以降の取組

① 一時保育の条件整備

② 発達・発達に不安を持つ父母の集い

③ 子育て支援講座の充実。(臨床発達心理士の協力要請)